

学習指導要領における 「情報モラル」(情報セキュリティ関係)に関する主な記述

高等学校 「情報」	
社会と情報	(2)情報通信ネットワークとコミュニケーション イ情報通信ネットワークの仕組み 情報通信ネットワークの仕組みと 情報セキュリティ を確保するための方法を理解させる。
	(3)情報社会の課題と 情報モラル イ 情報セキュリティ の確保 個人認証と暗号化などの技術的対策や情報セキュリティポリシーの策定など、 情報セキュリティ を高めるための様々な方法を理解させる。
情報の科学	(1)コンピュータと情報通信ネットワーク イ情報通信ネットワークの仕組み 情報通信ネットワークの構成要素、プロトコルの役割、情報通信の仕組み及び 情報セキュリティ を確保するための方法を理解させる。
	(3) 情報の管理 と問題解決 イ 情報の蓄積・管理 とデータベース 情報を蓄積し管理 ・検索するためのデータベースの概念を理解させ、問題解決にデータベースを活用できるようにする。
	(4)情報技術の進展と 情報モラル イ情報社会の安全と情報技術 情報社会の安全とそれを支える情報技術の活用を理解させ、情報社会の安全性を高めるために個人が果たす役割と責任を考えさせる。

中学校 「技術・家庭」	
[技術分野]	
(1) 情報通信ネットワークと情報モラルについて、次の事項を指導する。 イ情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知ること。 ウ著作権や発信した情報に対する責任を知り、 情報モラル について考えること。	

小・中・高等学校 「総則」	
(小) 各教科等の指導に当たっては、児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や 情報モラル を身に付け、適切に活用できるようにするための学習活動を充実する	
(中) 各教科等の指導に当たっては、生徒が 情報モラル を身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を充実する	
(高) 各教科・科目等の指導に当たっては、生徒が 情報モラル を身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ実践的、主体的に活用できるようにするための学習活動を充実する	

学習指導要領における プログラムに関する主な記述

中学校「技術・家庭」

プログラムによる計測・制御について、次の事項を指導する。

- ・コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知ること。
- ・情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できること。

高等学校「情報」

[情報の科学]

問題解決とコンピュータの活用

- ・問題の解決と処理手順の自動化
問題の解法をアルゴリズムを用いて表現する方法を習得させ、コンピュータによる処理手段の自動実行の有用性を理解させる。

(これらについて)学校や生徒の実態に応じて、適切なアプリケーションソフトウェアやプログラム言語を選択すること。